

松本室内合奏団

第68回 定期 演奏会

2026年

10月17日(土)

18:00 開演 / 17:30 開場

松本市音楽文化ホール メインホール

入場料 1,000円

指揮 竹内 健人

ヴァイオリン独奏 河西 絢子

曲目 ————— チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op. 35
ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 Op. 68

後援 長野県・長野県教育委員会・松本市・松本市教育委員会・(公財)八十二文化財団・信濃毎日新聞社
SBC信越放送・市民タイムス・長野エフエム放送・(公社)才能教育研究会

プレイガイド 松本市音楽文化ホール・ミュージックプラザオグチ

主催 松本室内合奏団

問い合わせ matsushitsu@gmail.com

松本室内合奏団
公式LINE



指揮 竹内 健人

福岡県北九州市出身。洗足学園音楽大学音楽学部を卒業後、東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業。これまでに、ブルーアイランド版「こうもり」「ヘンゼルとグレーテル」指揮者。2025年には萩尾望都原作青島広志作曲オペラ「半神」では世界初演の指揮も務める。2024年日本サクソフーンフェスティバルにて、洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団と共演。日本初のプロサクソフーンオーケストラ、東京サクソフーンオーケストラの常任指揮者を務め、全五回の定期演奏会他、東名阪ツアーも成功に導く。2025年ワルシャワ国際吹奏楽指揮コンクールにおいてファイナリスト及びオーケストラ特別賞を受賞。北九州グランフィルハーモニー管弦楽団、響ホール室内合奏団、筑豊フィルハーモニー管弦楽団、北九州交響楽団、北九州ジュニアオーケストラなど、福岡のプロ、アマチュア団体の客演も多く好評を博している。尾高忠明、ジョルト・ナジ、ラースロー・ティハニ、ダグラス・ポストックの各氏のマスタークラスを複数回にわたって受講。指揮を川本統脩、黒岩英臣、山下一史、高関健の各氏に師事。



©Ayane Shindo

ヴァイオリン独奏 河西 絢子



長野県茅野市出身。3歳よりスズキメソッド、河西好江クラスでヴァイオリンを始める。14歳でベートーヴェンコンチェルトを豊田耕児指揮で、また16歳でメルボルンにてシベリウスコンチェルトをオーケストラと共演する。スズキメソッドのテンチルドレンコンサートツアーに選出。全日本学生音楽コンクール高校の部、市川市文化振興財団コンクール等で入選、入賞。2013年湖水地方国際音楽祭（イギリス）のマスタークラスに奨学生として参加し、マスタークラスやソロコンサートに出演。2015年 東京藝術大学内在学中に選抜により室内楽定期に出演。在学中より北九州音楽祭、木曾音楽祭、加子母音楽祭、久石譲主催ナガノチェンバーオーケストラなど数々の音楽祭に参加。東京藝術大学卒業後、2015-2018年 NHK交響楽団アカデミー生として研鑽を積みその後渡独。2018-2020年 エッセンフィルハーモニー管弦楽団での活動を経て、2020年よりフランクフルト放送交響楽団（hr 響）のセカンドヴァイオリン奏者の正団員となる。また、2019年からはドイツフォルクヴァング芸術大学院でミンチョ・ミンチュフのもとで研鑽を積み2022年に最高得点で卒業。フランクフルト放送交響楽団のメンバーとの室内楽やリサイタル、オーケストラとの共演など

のソロの分野でも活動。音楽の友社 雑誌『最新ヴァイオリニストと名匠』にて『日本の名ヴァイオリニスト』として掲載される。『みんなのニュース』生放送にて演奏、『ラララ・クラシック』出演。これまで、三浦章宏、故若林暢、沼田園子、澤和樹、豊田耕児、ミンチョ・ミンチュフに師事。

松本室内合奏団

1989年2月、13名の弦楽器奏者が集まり結成された。「団員どうしが楽しく交流することはもちろん、純粋に音楽を楽しみ、また、より質の高い演奏を目指す」という指針をかげ、現在は県内外より約50名の団員が集まり、2管編成のオーケストラとして、年2回の定期演奏会を中心に活動が続いている。また、松本地域の音楽文化向上のため、他の演奏団体との交流も積極的に行っており、2005年7月には第6回定期演奏会より始まったベートーヴェン交響曲チクルスの集大成でもある「第9番」を信州あづみ野音楽祭にて、広上淳一氏の指揮のもと演奏。2006年にはモーツァルト生誕250年にあたり、指揮に横島勝人氏を迎えオールモーツァルトプログラムに取り組んだ。2010年には「みんなの第九コンサート」で小林研一郎氏と共演。また、まつもと市民オペラ、第1回「こうもり」、第2回「椿姫」、第3回「魔笛」、第4回「カルメン」、第5回「フィガロの結婚」、第6回「ちゃんちき」のオケを務める。2011年、松本市音楽文化ホール25周年記念演奏会に出演、久保田巧、鈴木学氏と共演。2015年の30周年記念演奏会にてヴァイオリンの安永徹氏と共演し好評を博す。自らの研鑽を積むことを目的に、一流演奏家との共演も多く行っている。今までに、ヴァイオリンの宗倫匡、徳永二男、豊嶋泰嗣、ジェラルド・プーレ、チェロの林峰男、山崎伸子、ピアノの清水和音、若林顕、ハープの吉野直子、オルガンの保田紀子、ホルンの大野総一郎、ウィーンフィルのホルン奏者ヴォルフガング・トムベック各氏と共演、いずれも好評を博す。 HP : <https://mmce.exblog.jp>

Matsumoto
Chamber
Ensemble